都中建と東建協が開催
＝「地域連携事業」を深化＝
ビジネスマッチング懇親会

東京都中小建設業協会（山口巖会長）と型枠工事業の東京建設工業協同組合（星幸三理事長）の「ビジネスマッチング懇親会」が2月6日、千代田区大手町のKKRホテル東京で、都中建から8社、東建協から14社が参加して開かれた。

新入社員研修などの地域連携コンソーシアム事業に共同で取り組んでいる両団体がさらにその関係を深めるため今回初めて開催したもので、冒頭、東建協の手塚利行理事が「全体的な流れとして鉄骨やPCなどに比べて在来工事が少なくなってきている。親睦を深め、ともに研修した仲間たちが一緒の現場で仕事できる機会をいただければありがたい」と挨拶。都中建の山口会長は「長崎・広島の現地視察、新入社員研修など担い手の確保・育成に向けた活動を中心に行ってきたが、お互いの仕事に役立つ活動も重要。今日の懇親がそのためのいい催しになることを祈念する」と述べた。

山口都中建会長の発声で乾杯し、自社紹介に引き続き懇談に入り、渡邊裕之都中建副会長（地域連携コンソーシアム協議会委員長）の中締めまで、有意義な懇親が続いた。

都中建・東建協　ビジネスマッチングミーティング　参加会社

	会社名	企業PR
1	三成建設㈱	創業77年、安全・品質に優れた型枠工事を提供し、元請の要望に応え社会に貢献できる企業を目指して、奮闘しています。
2	㈱川元工務店	創業47年、型枠工事一筋です。RC建物を造ることでお客様に喜んで頂き、私達も喜びと感動を頂いております。
3	㈱協栄組	創業より顧客の高い信頼を得て参りました。社是である「信頼される明るい会社」として進んでいく所存です。
4	㈱荻野工務店	匠の技を磨き、人を育て、世に残る建物を手掛けていくことで社会に貢献していくことが使命であると心掛けています。
5	㈱榊組	創業104年、多様な構造体・広範囲なエリア・あらゆる規模に対応すべく実績を積み重ねております。
6	㈱神谷建設	少人数のグループで自在に合流し、機動力を発揮、大規模現場から社寺・個人住宅まで幅広い実績があります。
7	後町建設工業㈱	明治43年の創業以来、型枠工事のパイオニアとして、豊富な経験と技術を若い世代に確実に継承しています。
8	小林建設㈱	先代の先輩方より安全第一の経営理念の元、型枠工事一本で来ています。顧客ニーズに合った建物を提供します。
9	福山建設工業㈱	型枠大工、墨出大工100人のグループで再開発作業所から耐震補強工事、改修工事の雑型枠まで対応しています！
10	㈱名取工務店	
11	㈱横井工務店	
12	㈱手塚工務店	「技術をつなぐ仲間をつなぐ」をスローガンに公共建築からマンションや住宅、小規模物件また、型枠のあらゆる工法にも対応いたします。
13	練成工業㈱	「社会から必要とされる企業を目指し、社業の発展を通じて社会貢献する」の理念のもと、さらに高みを目指していく所存です。
14	渡部工務店㈱	会社設立「平成8年」以来安全で綺麗な仕事を目指して【信頼と匠の技】で特殊型枠曲面型枠も得意とする専門工事会社です。

中央工学校で合同企業説明会

都中建は7月14日、北区王子にある中央工学校・学生寮にて合同企業説明会を開催した。土曜日のこともあり、カジュアルな形での和やかな説明会となった。

建設キャリアアップ説明会

5月17日、都中建は中野区の中野サンプラザの会議室で運営主体の建設業振興基金から建設キャリアアップシステム運営準備室の石原寛之企画調整課長を招き、技能者の資格や社会保険加入状況、現場の就業履歴等を業界横断的に登録・蓄積する「建設キャリアアップシステム」の説明会を開催した。

説明会には、約50名が出席。冒頭、渡邊裕之副会長が「当初の予定人員より多く方々に出席いただいた。関心の高さがうかがえるが、建設キャリアアップシステムにどう対応すべきかはまだ手探りの状態にあると思われる。質疑応答の時間も用意しており、建設業の担い手確保・育成等に向けてその早期習得、運用に役立てていただきたい」と挨拶。石原課長がシステムの概要、利用手順・料金・システムを活用した政策展開、登録申請の概要、今後のスケジュールなどについて説明するとともに、質疑応答が行われた。

入札契約制度改革で説明会

都中建6月20日、東京・中野区の中野サンプラザで「平成30年度東京都入札契約制度説明会」を開催し、会員約60人が参加した。

開会にあたり、山口巖会長は「昨年の3月から新しい入札契約制度を検討していく中で、我々の方からもいろいろと提案し、かなり多くの部分を取り入れてもらった。これからも制度を詰めながら、お互いにとって良い制度にしていけたらと思う」と挨拶。説明会では、東京都財務局から入札契約制度改革（2面参照）の実施内容▽予定価格の事後公表、事前公表の対象範囲▽再発注時の予定価格の取扱い▽工事発注規模の一部見直し▽再度入札の実施回数の統一についてなどの説明が行われた。

第3回建設業総合コース

都中建は3月14日から28日まで、厚生労働省による建設労働者緊急育成支援事業「29年度第3回建設業総合コース」を開催した。

専門職や現場監督として仕事をする上で必要となる知識を基礎から学ぶことができるもので、14日の入校式の冒頭、渡辺健司副会長が「2週間の短い研修期間だが、建設業の基礎知識を勉強していただき、業界に入ってきてもらいたい」と挨拶。3回目の今回は、玉掛け技能講習や小型移動式クレーン運転技能講習、鉄筋・型枠のミニモデルを使用した実地訓練などが行われた。

28日には、港区の建設業振興基金で修了式・面接会が挙行され、玉掛け技能および小型移動式クレーン運転技能の資格を取得した10人に修了証書が手渡された。

修了証書授与のあとの面接会では、受講者による30秒の自己紹介と面接会に参加する13社の会社説明が行われ、受講者が求人票を基に各社のブースを訪問した。

修了式で、森栄副会長は「気になる企業のブースに行って、聞きたいことを全部聞いてほしい。縁が結ばれれば、これほど素晴らしいことはない」と述べた。

工学院蒲田校で合同企業説明会

3月7日、都中建は日本工学院専門学校蒲田校で合同企業説明会を開催した。第1部で全体説明会として「建設業の魅力・現場の一日の流れ」「若手社員から」「あなたはどんな現場監督タイプ？」のあと、参加した14社が各自1分のアピールタイム。第2部は、それぞれの企業がブースに分かれ、学生が3回興味のある企業を回った。また、今年から1dayインターンシップを導入。4月23日～5月10日まで現場見学会が開催された。

「登録解体工事」講習開く

都中建は2月12日、中野サンプラザ研修室において、「登録解体工事講習」を開催した。平成31年6月1日から解体工事業の許可が必要になることを受けたもので、当日は協会員111名が参加し、講習のあと、試験を受け、受講票が交付された。

入会挨拶

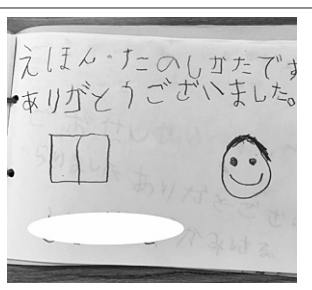
社会の役割、地位向上に

株式会社フクダ
代表取締役
福田　款史

この度、入会させていただきました、株式会社フクダの福田款史と申します。一般社団法人東京都中小建設業協会の基本理念をよく理解し、基本運営に沿って活動していく次第です。

建設土木業界の社会への役割強化と地位向上を目指す協会の一員としてお役に立てる様、頑張ってまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

今年度も200か所
＝幼稚園への絵本寄贈＝
子供らから嬉しい礼状



東京都中小建設業協会（山口巖会長）は、地域連携コンソーシアム事業（渡邊裕之委員長）の一環として昨年度実施した幼稚園への「建設関係絵本」寄贈で、今年度も東京建設工業協同組合（星幸三理事長）、東京建物解体協会（藤井誠会長）と共同で東京都私立幼稚園連合会に加盟する幼稚園約200か所に寄贈する。

幼少期から建設の仕事、建設業への関心、親しみを深めてもらうため行っているもので、昨年度は大田区（48）、八王子（30）、足立区（52）、世田谷区（58）、豊島区（15）の各園に「みんなで！いえをたてる」「みんなで！どうろこうじ」「ざっくんしょべるかー」の3冊を贈呈。今年度は板橋（32）、杉並（39）、中野（20）、練馬（39）、葛飾（29）、武蔵野（18）、町田（29）に希望を聞き、贈ることにしている。

絵本は好評で、嬉しいことに都中建には可愛い子供らからたくさんの礼状が届いており、そうした感謝のメッセージ等を冊子にしてまとめることも計画している。

（昨年度の本寄贈の模様）世田谷区北沢・育成幼稚園の柏原寛昭園長㊥と東建協の手塚利行理事㊧、都中建の渡邊副会長・委員長㊨）

昨年度の寄贈の模様